

〔事業者が特に力を入れている取り組み：多機能型事業所〕

(事業所名: 社会福祉法人 武蔵野会 きね川福祉作業所)

事業者が特に力を入れている取り組み		
評価項目	1-1-1	事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している
タイトル	理念の追求・実践に向け「理念の語りの継続」に取り組み、職員一丸で理念達成を目指す	
内容	法人理念「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ」を掲げている事業所では、理念から導いた法人の行動規範を、支援の現場での具体例を示しながら、分かりやすく説明された「支援介護の基本ブック」を法人で作成し、支援体制の確立を図っている。現在は理念の追求・実践に向け、事業所版・個人版の作成に入っており、「理念の語りの継続」に取り組んでいる。また、利用者・保護者・地域ニーズに則した福祉サービスの提供と、福祉従事者としての行動規範をより明確化して支援にあたるなど、事業所・職員一丸となって理念達成を目指している。	

事業者が特に力を入れている取り組み		
評価項目		
タイトル		
内容		

事業者が特に力を入れている取り組み		
評価項目		
タイトル		
内容		

特に良いと思う点		
1	タイトル	利用者との信頼関係の構築に努め、さらなる利用者本位の支援を目指している
	内容	事業所では、利用者とのコミュニケーションを図り、信頼関係の構築に取り組んでおり、施設運営に関しても意見が言えるシステム作りに努めている。現在は、本人活動の一環として利用者全員参加のタウンミーティング(利用者集会)を開催し、新年会など活動の話し合いや振り返りを行っている。また、「自分たちのことは、自分たちで決める」の実践として、利用者主体の意見交換の場とした、利用者代表者会議を隔月開催しており、ゆくゆくは利用者自治会に発展させ、さらなる利用者本位の支援を目指している。
2	タイトル	社会福祉法人としての重要な使命である社会貢献の実践として、地域向けの研修会を開催し、障害者理解、地域貢献に繋げている
	内容	理念実践によるサービスの質の向上と、社会福祉法人としての重要な使命である社会貢献についての重点項目を掲げている。この実現に向け、災害対策用の毛布や飲食物を避難場所として整備のほか、地域の学校からの実習生や体験授業などを積極的に受け入れるとともに、個別相談にも応じている。また、区内の福祉施設が連合し結成した「福祉を学ぶ会」に参加し、地域向けの研修会を今年度から開催している。この研修会には、地域の人や当事者なども参加しており、今後は事業所内研修も単独で開催し、障害者理解、地域貢献に繋げたいと考えている。
3	タイトル	高齢化や障害特性を把握し、個別のニーズに沿った食事の提供で利用者の健康を支援している
	内容	栄養士は委託業者と連携し、摂取カロリーや季節の食材を工夫するなど栄養バランスを考慮し、嗜好カルテを作成し肥満予防に努め、主食や主菜を押えたヘルシー食や刻み食などの食形態にも対応するなどしている。また、食事の見守り職員を置き、口腔体操を行うなど安全にも配慮している。さらには、歴史の長い事業所では、利用者の高齢化や認知症状もみられたことから、咀嚼や嚥下の状態など把握し、個別のニーズに沿った軟菜、とろみ等、特別食について情報を集め研究を進めるなど、食の面からも個々の状況に応じた、健康維持に積極的に取り組んでいる。
さらなる改善が望まれる点		
1	タイトル	ネガティブプランからポジティブプランなるよう、様式を改定して、本人の夢や要望が反映され目標が達成される取り組みに期待したい
	内容	今年度の支援の重点課題の筆頭に、「利用者一人一人を大切にしたい支援」を掲げている事業所では、「個別支援計画の本人意思への配慮の徹底」を図ることで、その実現を目指したいと考えている。作成にあたっては、担当職員が本人・家族の意向を確認して作成され、利用者・家族の同意を得ている。一方で、現在のアセスメントや個別支援計画の様式では、課題に対する支援が主体となり、本人の夢や要望が反映されていないと感じている。今後は、ポジティブな捉え方のできる様式に変更され、目標が達成される取り組みに期待したい。
2	タイトル	可能な限り職員の適正や状況に応じた研修計画による、さらなる質の向上に向けた実践に期待したい
	内容	職員の質の向上は、今後も必須として考えている事業所では、職が職員一人ひとりの行動(事実)に対する育成・指導内容などを記録した「声かけノート」の集約や、自己申告書などで個別な研修ニーズを把握して職員一人ひとりの育成方針や育成プランを「育成ノート」で作成しているものの、有効活用できていないと感じている。また、施設外研修をはじめ法人、事業所内、法人区内施設やOJTを計画的に実施しているが、今後は、可能な限り職員個々の適性や状況に応じた研修計画が必要と考えていることから、その実践に期待したい。
3	タイトル	「自分たちのことは、自分たちで決める」の実践として利用者自治会を実現し、さらなる自己選択・自己決定に繋がる取り組みに期待したい
	内容	事業所では、出来る限り施設運営について意見が言えるシステム作りに着手しており、面談の機会や本人活動の一環として利用者全員参加のタウンミーティング(利用者集会)を開催して意見や要望を把握している。また作業終了前にはお茶会を楽しみながら、利用者と職員とで話し合ったり、支援目標の「自分たちのことは、自分たちで決める」の実践として、利用者主体の意見交換の場とした、利用者代表者会議を隔月開催し、ゆくゆくは利用者自治会を目指していることからその実現により、さらなる自己選択・自己決定に繋がる取り組みに期待したい。